

## 《学園だより》

看護学科1年生は、栄養学の時間で『嗜好を満足させて生活を豊かにするもの』を目的とし2つの体験学習に臨みました。

①「食事を文化とし、健康の維持増進と延命に関与していることを理解する」の目標から、ますの寿司ミュージアムで実際にますの寿司をつくる体験を行いました。

学生は、富山の食の歴史や食に対する安全性を学ぶ機会となりました。



②「紅茶を通じて食文化を学ぶ」の目標から、ティープランナーを講師に迎え、紅茶の入れ方などを学びました。

学生は、紅茶の入れ方を学び、産地によって紅茶の香りや味の違いや、入れ方による違いを感じていたようです。



看護学科2年生は、基礎看護学実習Ⅰから臨地実習が始まりました。基礎看護学実習Ⅰでは、日常生活の援助を中心に、臨地実習指導者との同行実習を行いました。現在は、各領域の実習で領域別の看護過程の展開に戸惑いながらも、対象の個性を捉えた看護に取り組んでいます。

以下、学生の学び「基礎看護学実習Ⅰを終えて」を掲載します。

### 【基礎看護学実習Ⅰを終えて】

看護学科 2年 牧野 杏奈

私たち42回生は、本格的に実習が始まりました。基礎看護学実習の初日は、不安と緊張のなか実習にむかいました。実習病棟は、混合病棟でほとんどの患者さんが手術対象患者さんでした。私は、学生として「対象に合わせた援助技術を学ぶ」を目標に実習に臨みました。

最初は、どのように実習に取り組めばよいかわからなかったのですが、日を追うごとに自分ができうる事が増え、援助技術9項目の中から、その患者さんに必要な援助がみえてきました。なぜ？どうして？の根拠に基づき援助を行うためには、患者さんの情報を得て、その人にあった援助が必要であることを学びました。急性期の患者さんは日々状態が変化していきます。現在、ベッド上安静指示の患者さんも、翌日には歩行していたり、2本3本と繋がっていた点滴やカテーテルが、時間経過によって抜去していく中で、的確に情報を得る必要性や、病状や経過において提供する援助の変化を知ることができました。

これからの臨地実習では、患者さんの反応を観る力・アセスメントや根拠を考える力を持つことができるように取り組んでいきたいと思えます。

## 《 学生募集 》

地域との交流や学校PRを兼ねて官民連携企画「看護学校で体験してみよう総曲輪レガートスクエア×富山市医師会看護専門学校」が開催されました。参加者は、富山市在住で30代から60代の方でした。「高齢者模擬体験」や「妊婦模擬体験」赤ちゃんの人形を使って「沐浴体験」などを行いました。参加者の皆さんは、とても楽しそうに体験に参加されていました。看護学校を身近に感じてもらい、今後の学生募集に繋がればと思います。



高齢者模擬体験



妊婦模擬体験



沐浴体験

## 《 学校行事 》

- 2 / 3 (土) 一般入学試験 (学科)
- 2 / 4 (日) 一般入学試験 (面接)
- 2 / 6 (火) 一般入学試験合格発表
- 2 / 8 (木) 平成30年富山県准看護師試験
- 2 / 18 (日) 第107回看護師国家試験
- 2 / 19 (月) 入学手続き締め切り
- 3 / 1 (木) 卒業式・特別講演 (サンフォルテ)
- 3 / 12 (月) 富山県准看護師試験合格発表
- 3 / 16 (金) 終業式
- 3 / 20 (火) 新入生ガイダンス
- 3 / 26 (月) 看護師国家試験合格発表